

## 2021 年度実施概要

学校名

気仙沼市立松岩小学校

採択活動名

「森と海のつながりを考えよう」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 気仙沼の森と海のつながりについて知ろう	5 学年	総 合
2. 気仙沼の海の幸を知ろう	5 学年	総 合
3. 植林体験をしよう	5 学年	総 合

取り組みの概要

## 1 気仙沼の森と海のつながりについて知ろう

## ① 出前講座（気仙沼水産試験場の職員）

- ・資料を使用し、気仙沼市の地理的特徴、海流の様子、風土についての理解を促した。
- ・松岩で行っているワカメの養殖業を題材とし、ワカメの一生について知った。
- ・気仙沼市の地形と水産業の特質についても、講話いただき、質疑応答を行った。

## ② 舞根の海を見学しよう（舞根森里海研究所見学）

- ・牡蠣養殖イカダの観察をしながら、山に海が迫る気仙沼の地形やリアス式海岸を体感した。
- ・気仙沼に生息する海の生き物を観察し、その多様性に気付くことができた。
- ・プランクトンを採集し電子顕微鏡で確認すると共に、NPO 法人森は海の恋人理事長畠山重篤氏より、豊かな森の養分で育ったプランクトンがカキの養殖に必要であり、そのために豊かな広葉樹の育成と手入れが大切であることについて講話をいただき、海と森のつながりについて理解を深めることができた。



畠山 重篤氏 講話

## 2 気仙沼の海の幸を知ろう

## ○ 出前講座（臼福本店）

- ・日本有数の気仙沼港に水揚げされるカジキマグロの漁法について、漁師さんを迎え、教えていただいた。また、三陸沖がいかに優れた漁場であるのかも触れていただき、前単元との関連を図った。
- ・臼福本店では、持続可能なマグロ漁業を目指し、間引きによるマグロの流通を防ぐために自社のマグロにタグを付け、世界で最も厳格なルールに従って獲ったという証明を行っていることを教えていただいた。自然の生態系の維持について知り、人間と自然の共存について考えるきっかけとなった。



実物大のカジキマグロ

### 3 植林活動をしよう

#### ① 長の森山（学区内）に木を植えよう

・海の豊かさを守る行動として、学区の山に広葉樹を植林した。森林組合の方から、森の生態系についても講話をいただいた上で植林活動をした。この活動は、次年度以降も行い、本校児童の手で広葉樹を増やし、海も山も里も守る活動を展開する予定である。



故郷の森への植林活動

#### ② 伝えよう 私たちの活動

・気仙沼市の「海と森のつながり」について、「海洋教育こどもサミット IN 東北」で、オンライン発表を行った。社会科や理科での学習を基盤として、児童の思いを写真やデータを活用して海洋保全を目的した学習の様子を配信した。また、海洋に対する思いを歌で表現し、東北地方で海洋を学ぶ仲間にメッセージを伝えた。

・2月は、世界に目を向け、インドネシアのバリの小学校とオンライン学習を行う予定である。文化交流を含め、海洋にまつわる学習紹介を行う予定である。